
赤 潮 警 報

鹿児島県水産技術開発センター
平成18年6月23日

八 代 海 警 報 No. 1

[1] 6月23日の東町漁協による調査結果

東町漁協による赤潮調査の結果、長島町(旧東町)伊唐島南東沖においてシャトネラ アンティーカが最高19cells/ml (5m)確認されました。

八代海南部海域では、ほとんどの調査点でシャトネラ アンティーカが10細胞/ml前後確認されています。

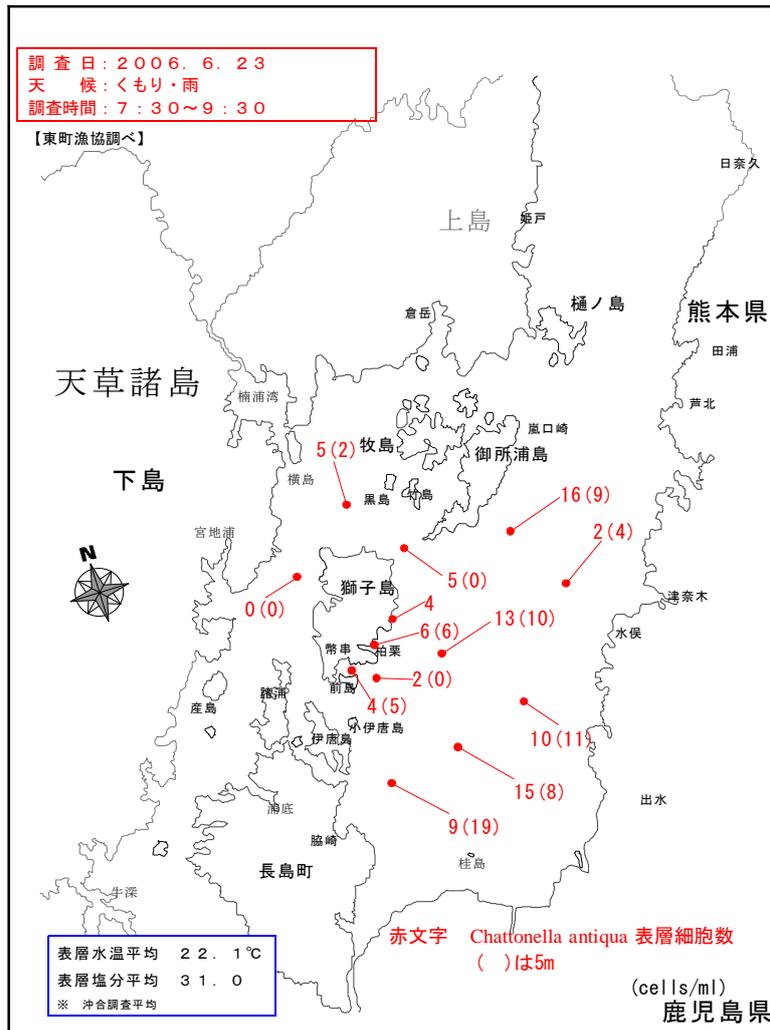
注意報を発令した6月21日と比較して細胞数が増加傾向にあり、養殖魚場内でも本種が確認されておりますので、本日付で赤潮警報を発令します。

[2] 今後の赤潮発生の予想

シャトネラ アンティーカの最適水温は23~26℃、最適塩分は30以下とされています。現在のところ、八代海南部海域の平均水温が22.1℃、塩分が31.0と、ほぼ本種の最適水温・塩分下にあります。

また、天気予報では明日以降雨が降り続く見込みですので、塩分濃度についてはさらに下がり、最適塩分である30以下になることが予想されます。よって、本種の最適水温・塩分が継続することが予想されますので、今後さらに細胞数が増加することが考えられます。

シャトネラ アンティーカは着色しないような細胞数(30~50cells/ml)でも、へい死事例がありますので、出現海域付近の養殖場では検鏡による細胞数の動向を把握(表層~中層)するとともに、海水の変色等、異常を感じたら直ちに餌止め等の対策が必要です。



赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/HTML/index.shtml>